

ビルングシステム株式会社

2016年12月期第2四半期決算説明資料

2016年8月29日
代表取締役社長 江田敏彦

1 2016年12月期 第2四半期

1.1 2016年12月期 第2四半期決算総括

売上高

952百万円

- ・ 前年同期比＋211百万円。これは収納代行サービス（前年同期比＋86百万円）、支払代行等その他サービス（前年同期比＋97百万円）が牽引したため。

営業利益

131百万円

- ・ 前年同期比＋51百万円。利益率の高いクイック入金が＋18百万円となったこと、支払代行サービス等その他サービスが＋97百万円となったことが主因。

四半期純利益

△113百万円

- ・ 投資有価証券評価損201百万円の計上（2016年12月期第1Q）
⇒ PowaTechnologiesへの投資
- ・ 法人税等39百万円。

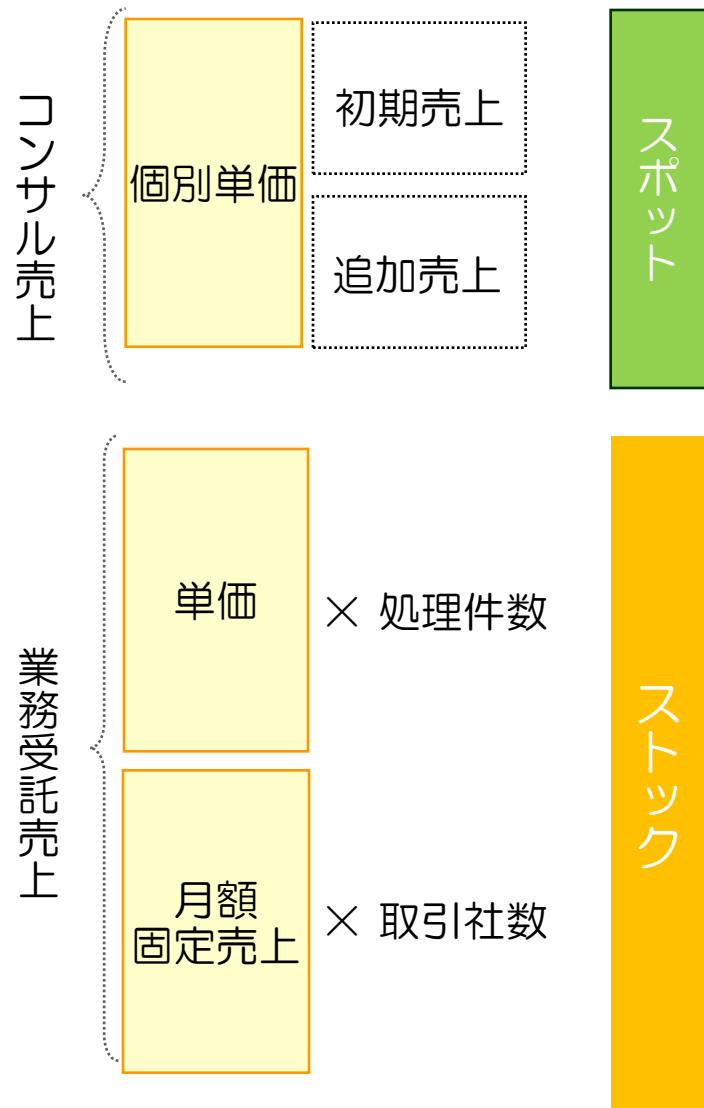
1.2 損益計算書の概要

単位：千円

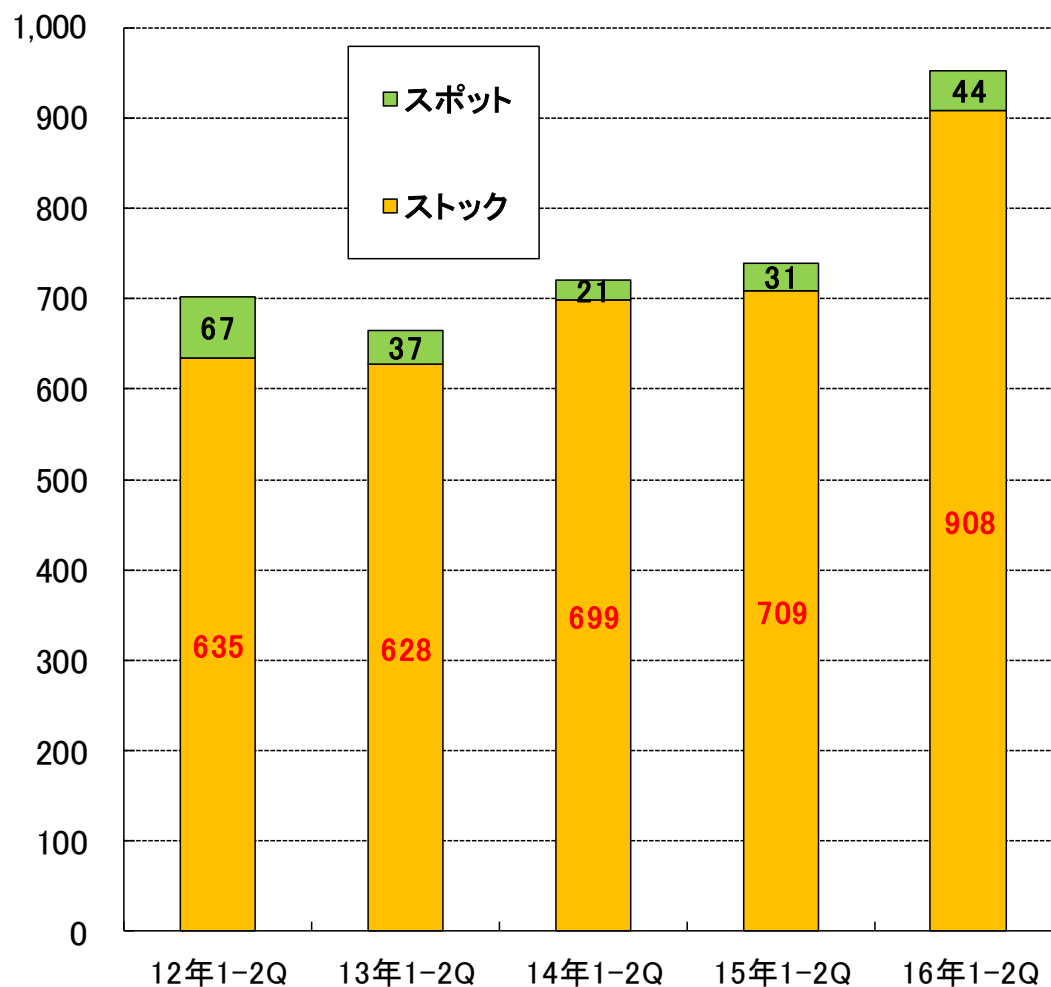
	2015年12月 第2四半期（累計）		2016年12月 第2四半期（累計）		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
売上高	740,951	100.0%	952,759	100.0%	28.6%
売上総利益	249,062	33.6%	337,497	35.4%	35.5%
営業利益	79,367	10.7%	131,107	13.8%	65.2%
経常利益	79,176	10.7%	130,150	13.7%	64.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	65,992	8.9%	△ 113,121	-11.9%	-
EPS	41円80銭	-	△71円05銭	-	-

1.3 売上構造

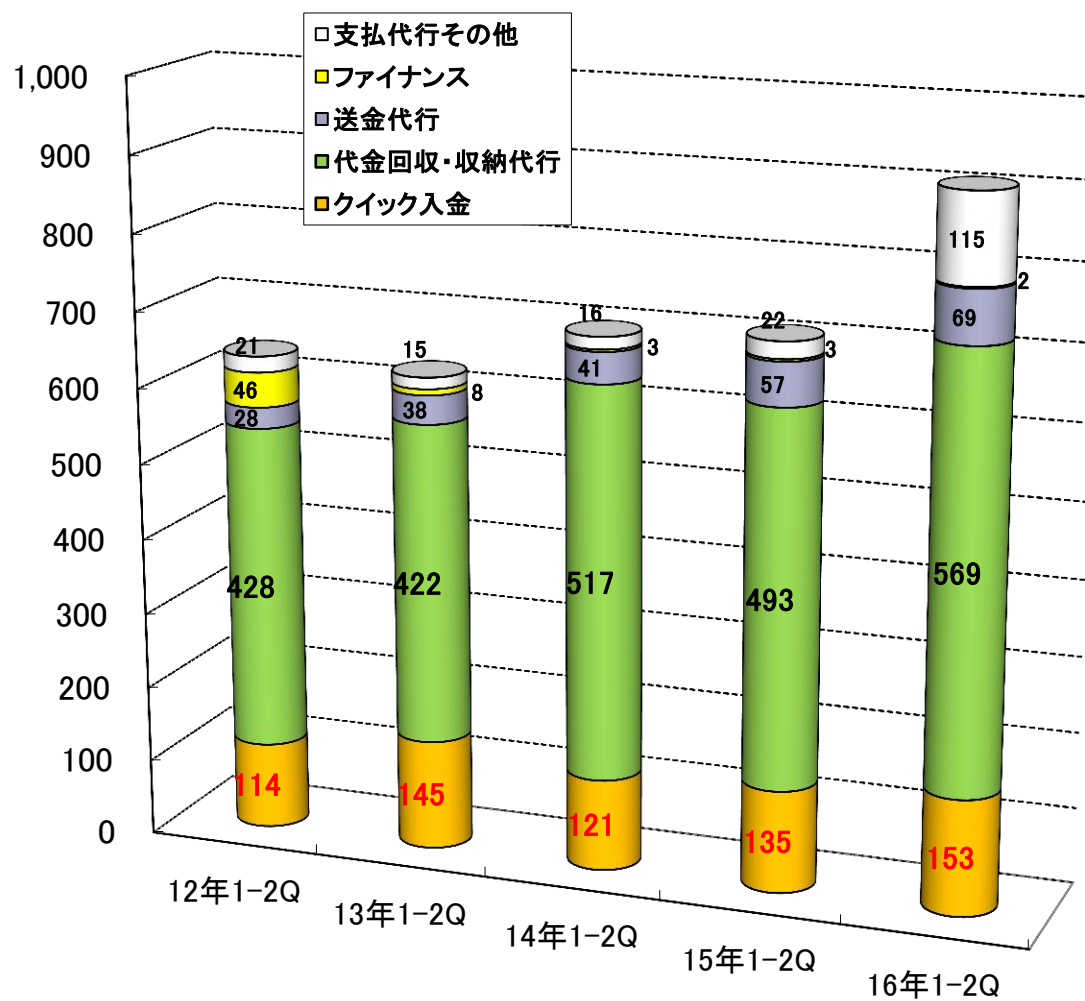
業務受託（ストック）積上が基本



売上実績推移 (百万円)

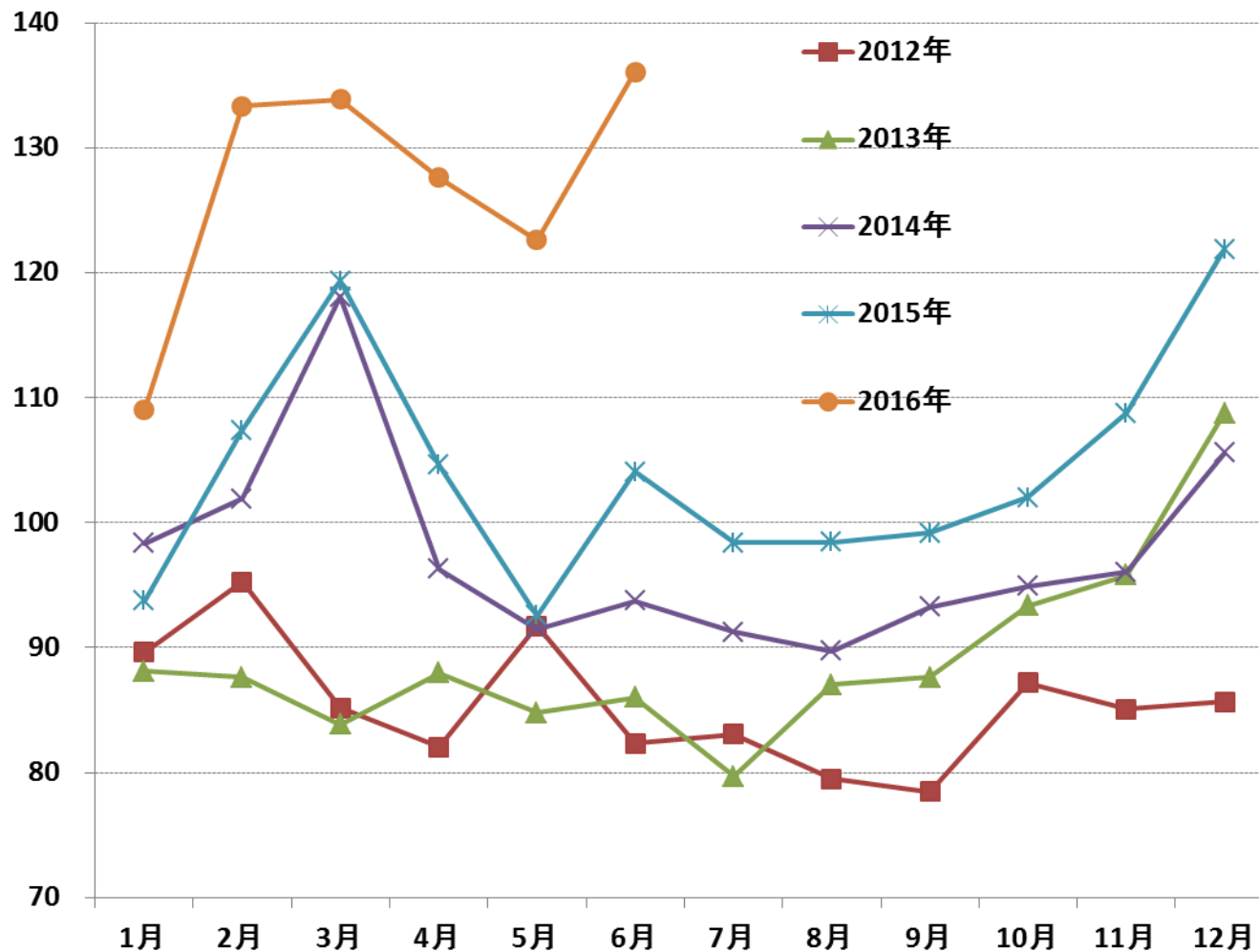


1.4 サービスライン別業務受託売上推移



1.5 業務受託月別売上推移

百万円（単体ベース）

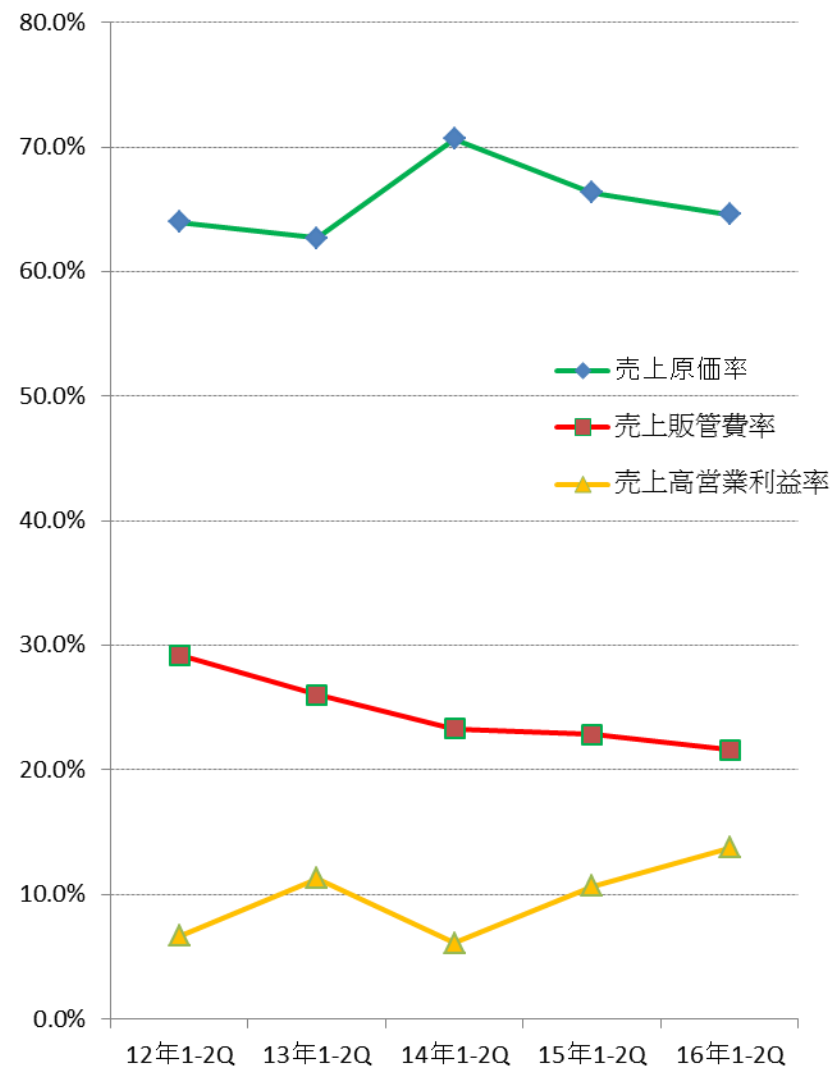
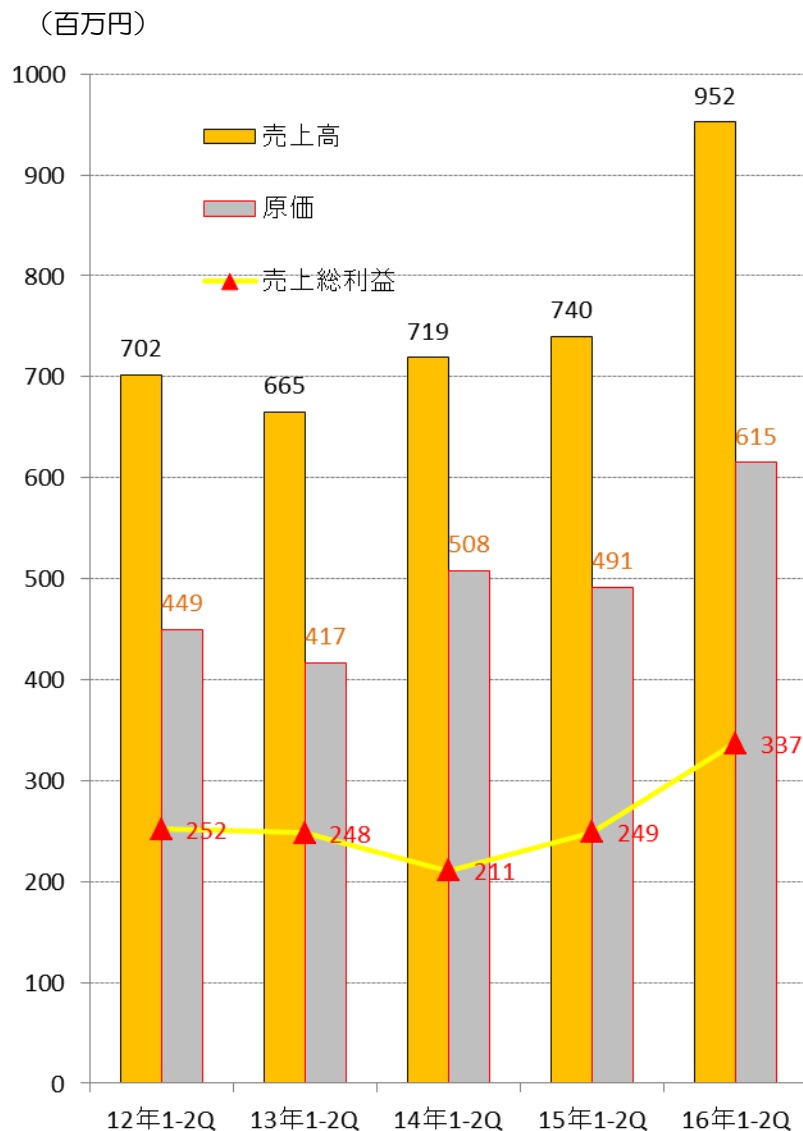


1.6 サービス別売上推移

百万円

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年2Q
クイック入金	業務受託	228	272	254	283	153
	コンサル・スポット	40	28	27	34	24
	合計	269	301	282	318	177
代金回収・収納代行	業務受託	834	884	979	939	568
	コンサル・スポット	9	19	28	18	14
	合計	844	903	1,008	958	583
送金代行	業務受託	62	77	91	118	68
	コンサル・スポット	1	0	0	7	0
	合計	64	77	91	126	69
ファイナンス他	業務受託	87	11	6	4	2
	コンサル・スポット	33	0	0	0	0
	合計	121	11	7	4	2
その他	業務受託	37	30	32	73	115
	コンサル・スポット	2	2	3	3	4
	合計	40	33	36	77	119
合計	業務受託	1,251	1,276	1,365	1,419	908
	コンサル・スポット	86	50	61	64	44
	合計	1,338	1,326	1,426	1,484	952

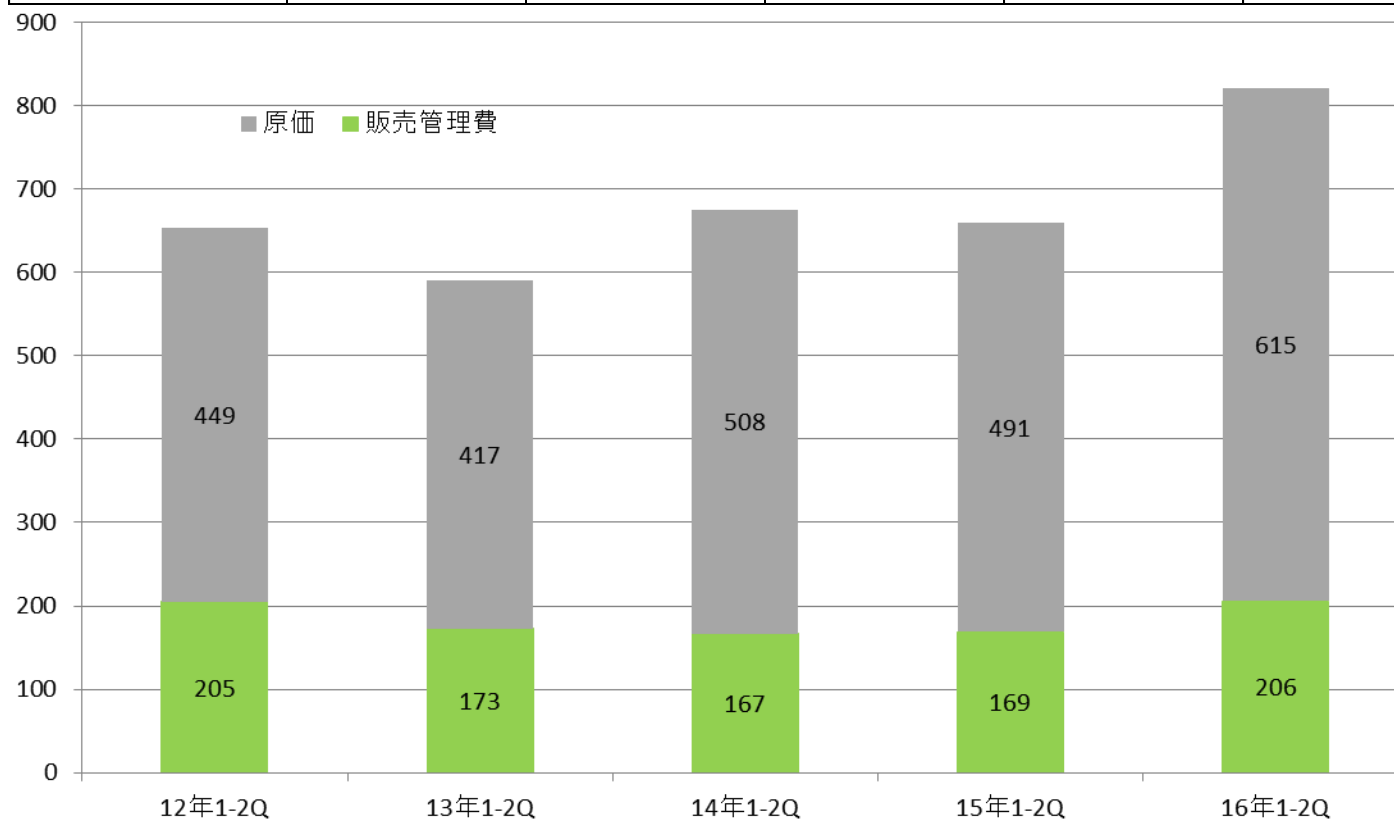
1.7 収益構造



1.8 コスト構造

単位：百万円

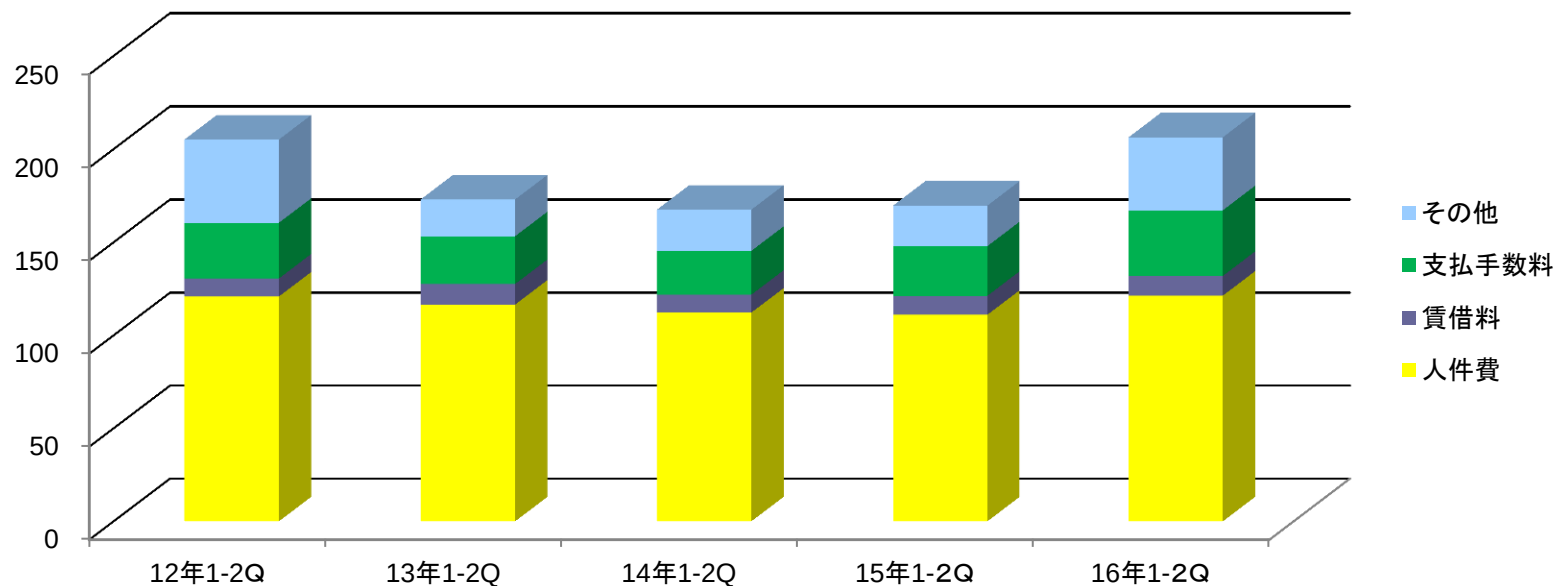
	12年1-2Q	13年1-2Q	14年1-2Q	15年1-2Q	16年1-2Q
売上原価	449	417	508	491	615
販売管理費	205	173	167	169	206



1.9 販売管理費内訳

販売管理費実績推移（百万円）

	12年1-2Q	13年1-2Q	14年1-2Q	15年1-2Q	16年1-2Q
人件費	121	117	113	113	125
賃借料	10	11	10	10	11
支払手数料	30	26	24	27	35
その他	45	20	21	19	36
合計	205	173	167	169	206



1.10 貸借対照表の概要

単位：千円

	2015年12月期		2016年12月期第2四半期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
流動資産	5,949,328	91.6%	5,809,561	94.9%	-2.3%
固定資産	542,505	8.4%	314,220	5.1%	-42.1%
資産合計	6,491,834	100.0%	6,123,781	100.0%	-5.7%
流動負債	4,523,520	69.7%	4,332,803	70.8%	-4.2%
固定負債	131,435	2.0%	104,017	1.7%	-20.9%
負債合計	4,654,955	71.7%	4,436,821	72.5%	-4.7%
純資産合計	1,836,878	28.3%	1,686,960	27.5%	-8.2%
負債純資産合計	6,491,834	100.0%	6,123,781	100.0%	-5.7%

1.11 キャッシュ・フロー計算書の概要

単位：千円

	2015年第2四半期	2016年第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 308,882	△ 185,373
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 204,777	△ 27,611
フリーキャッシュ・フロー	△ 513,659	212,985
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 23,417	58,813
現金及び現金同等物の増減額	△ 537,077	△ 154,171
現金及び現金同等物の期首残高	5,642,098	5,383,941
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,105,021	5,229,770

(プラス要因)

投資有価証券評価損

201,060千円

(マイナス要因)

預り金の減少 303,193千円

税金等調整前四半期純損失

70,909千円

(マイナス要因)

無形固定資産取得 10,430千円

敷金保証金増加 15,724千円

(プラス要因)

短期借入金 100,000千円

(マイナス要因)

長期借入金返済 30,000千円

配当金 23,186千円

2 2016年12月期計画

2.1 2016年12月期 業績見通し

単位：千円

	2015年12月期		2016年12月期			
	実績	構成比	第2四半期実績	通期計画	進捗率	期初計画比
売上高	1,484,437	100.0%	952,759	1,823,849	52.2%	5.5%
売上総利益	511,876	34.5%	337,497	599,880	56.3%	13.5%
営業利益	164,444	11.1%	131,107	166,883	78.6%	45.8%
経常利益	165,150	11.1%	130,150	165,791	78.5%	45.2%
親会社株主に 帰属する四半 期純利益	143,406	9.7%	△ 113,121	△ 93,375	-	-

2.2 2016年12月期第3Q～4Qのポイント

■ 16年12月期の業績見込み

通期売上高1,823百万円（期初計画比5.5%）、
営業利益166百万円（期初計画比45.8%）の見込み。

- 売上については、クイック入金について、上期は英国のEU離脱により為替が大きく動き、予算比上振れたが、下期は為替も落ち着く前提で保守的に見込む。
- 収納代行については、上期は例年同様季節要因による増加があったが、下期は取引先拡大により略横ばいに推移するものと見込み。
- 新規事業としては、OTI社のカードリーダー売上を計上予定。
- スマホマルチ決済、越境EC関連事業の売上の本格的寄与は2017年度から。
- 引き続き採用に注力。

■ 施策

スマホマルチ決済の推進

- 銀聯スマホ決済対応済 2月
- WeChat決済対応済 8月
- クレジットカードのスマホ決済サービス(PayB)の自社開発
10月目途に開発、11月サービスイン予定

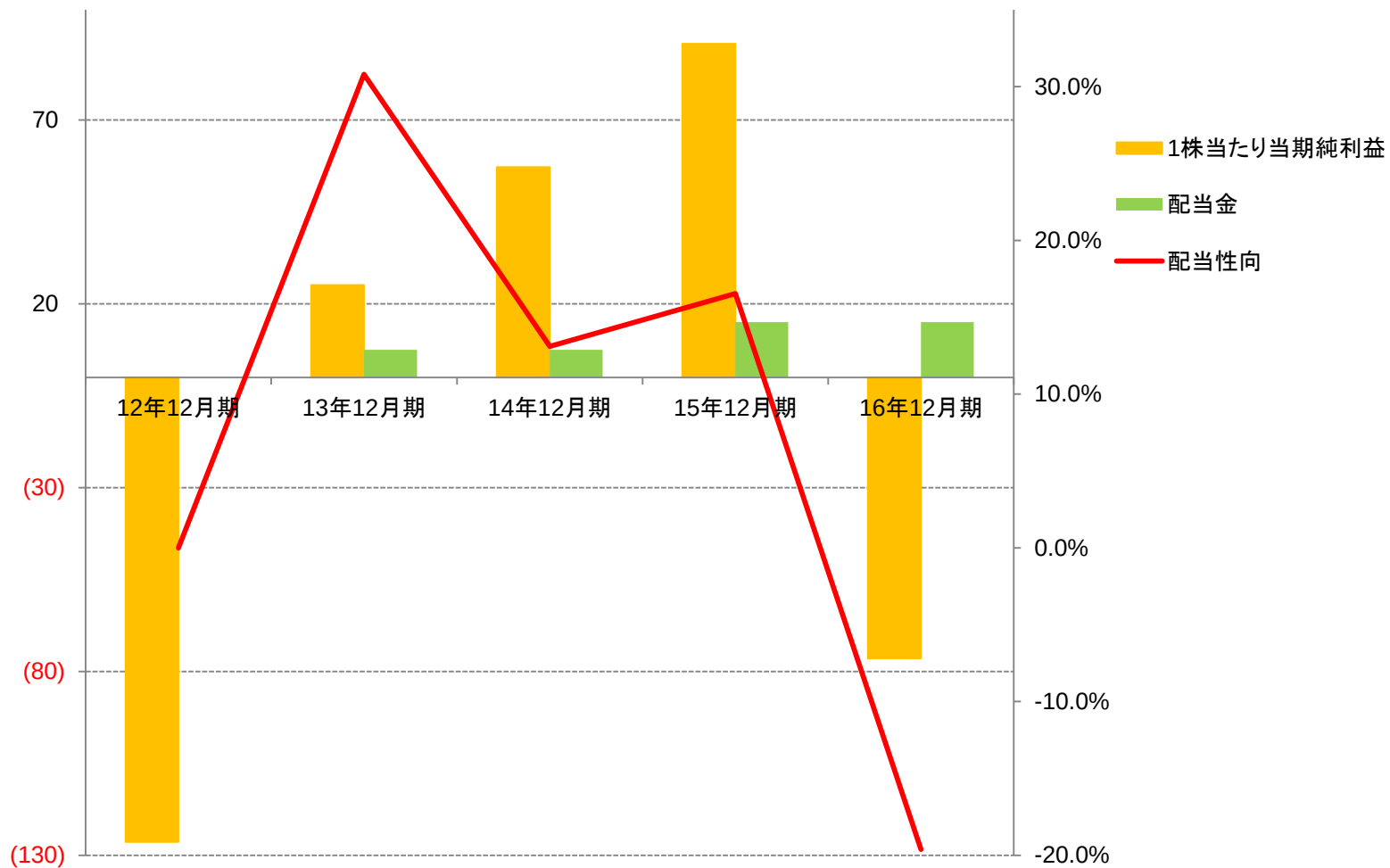
越境EC関連事業の取組み 10月

M&Aの活用

- 事業領域の拡大/継続検討

2.3 配当

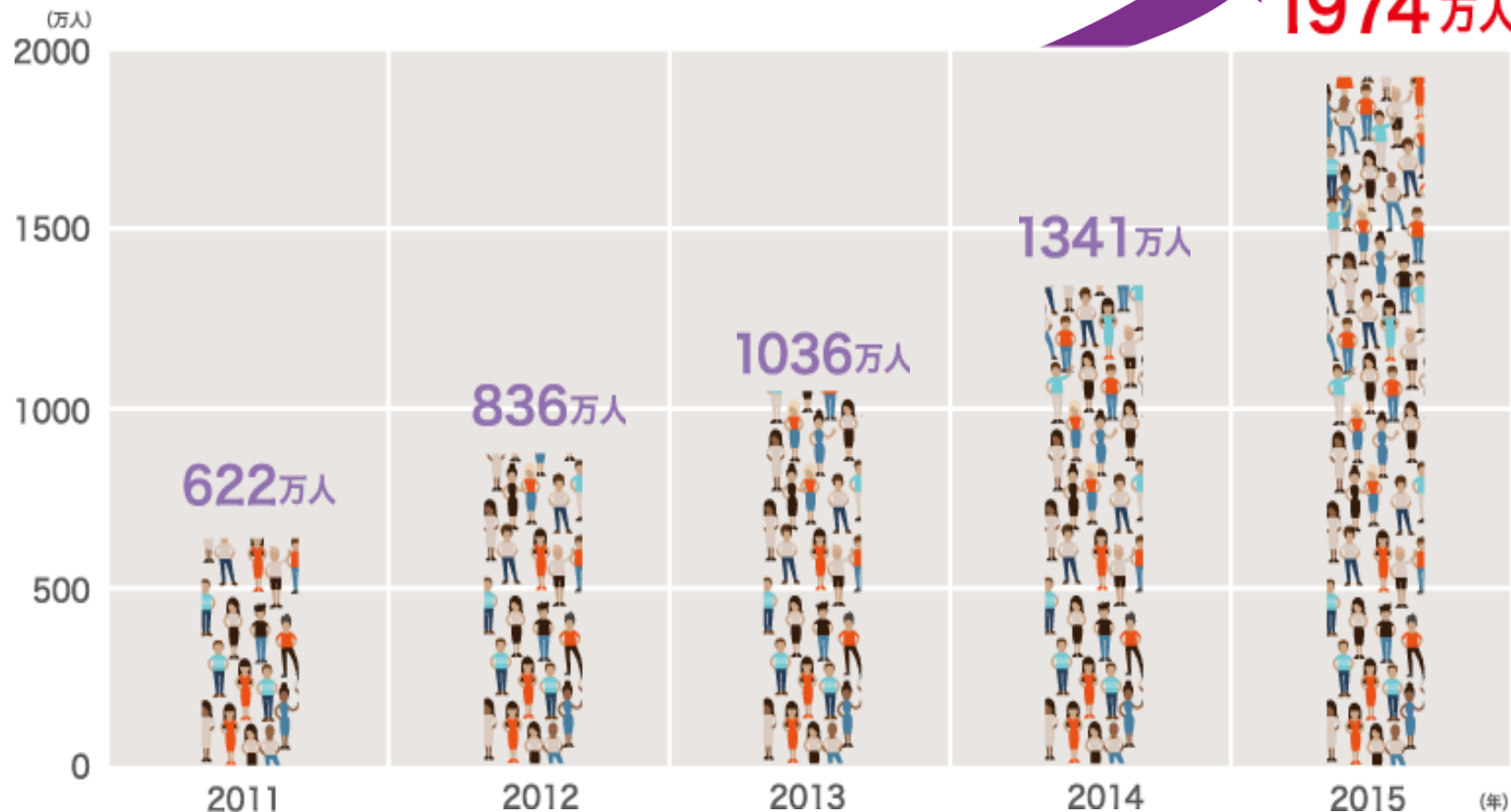
円



3 成長戦略

3.1.1 外部環境①

訪日外国人旅行者の推移 (2011~2015)



出典: 日本政府観光局 (JNTO)

3.1.2 外部環境②

世界では...



QR/バーコードによるモバイル決済が増加。

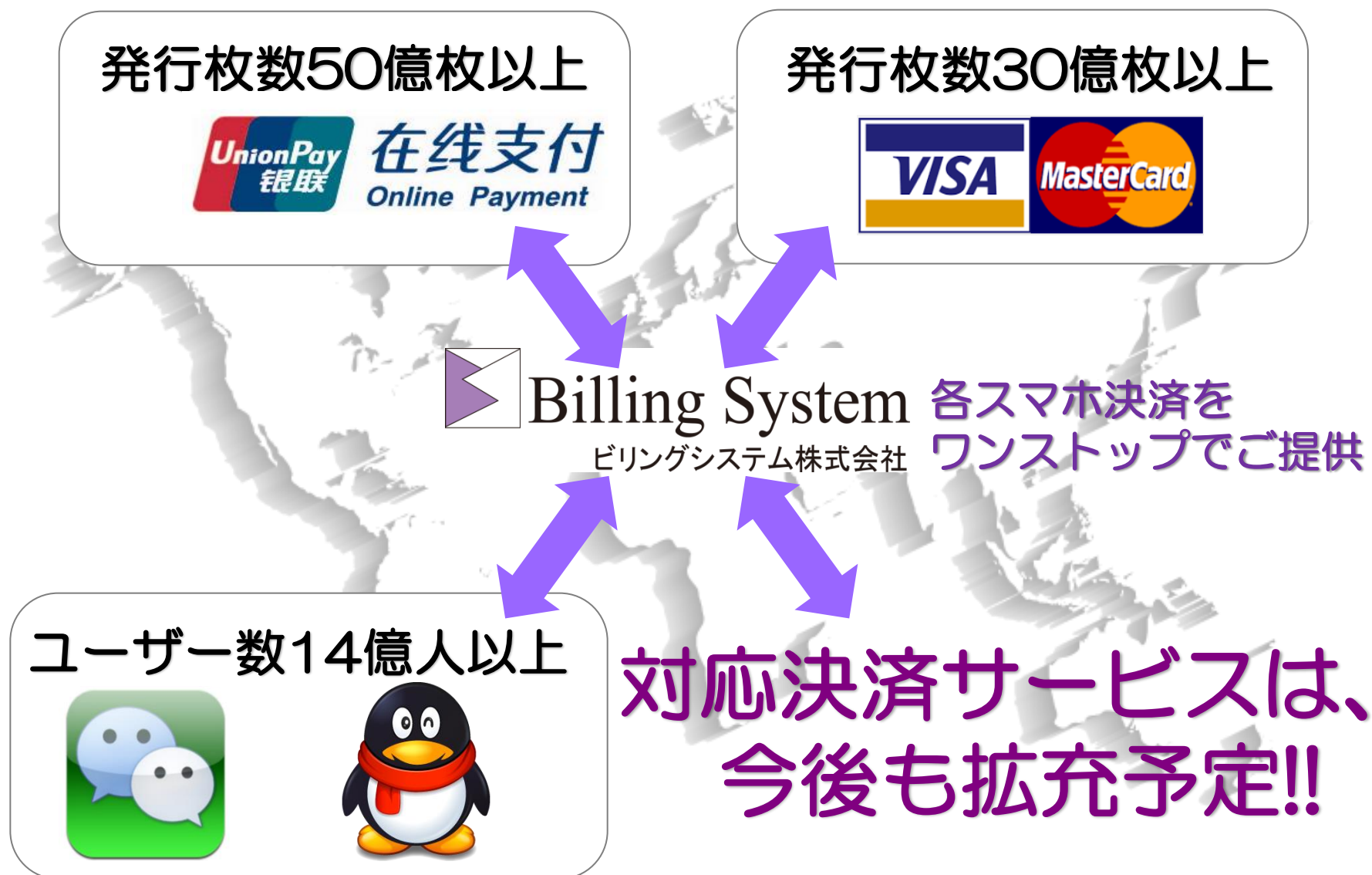
3.2.1 スマホマルチ決済サービスの展開①

スマートフォン、タブレット、POS等を決済端末として、

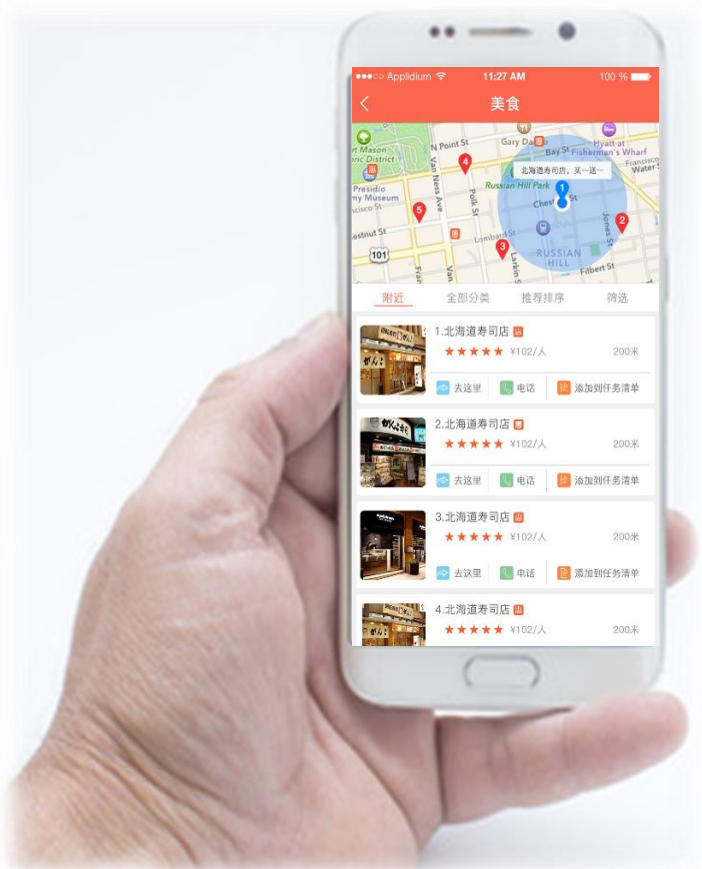
①PayB（Visa/MasterCard/銀行引落）、②縦横日本（銀聯）、③We Chat Pay、④Qウォレットなどのスマートフォン決済をワンストップで提供できるプラットフォーム。



3.2.2 スマホマルチ決済サービスの展開②



3.3.1 スマホマルチ決済サービスの強み①-1



集客力の強化！

◆店舗と商品の紹介！

◆クーポンの配布！

◆店舗までの道案内も！

すべて中国語サポート

3.3.1 スマホマルチ決済サービスの強み①-2

さらに…

SNS

**中国全土に情報を発信!**

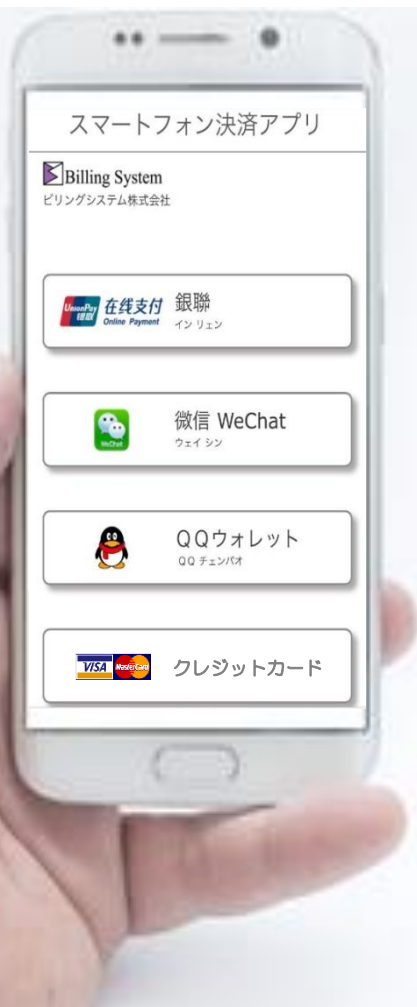
3.3.2 スマホマルチ決済サービスの強み②-1

専用機器不要！

スマホ・タブレットで決済可能



※POS接続も可能!



3.3.2 スマホマルチ決済サービスの強み②-2

店舗の利用方法はシンプル！



- ① 決済方法を選択
- ② 請求金額を入力
- ③ QRを表示

完了!!

オペレーションも
楽々!!

3.3.3 スマホマルチ決済サービスの強み③



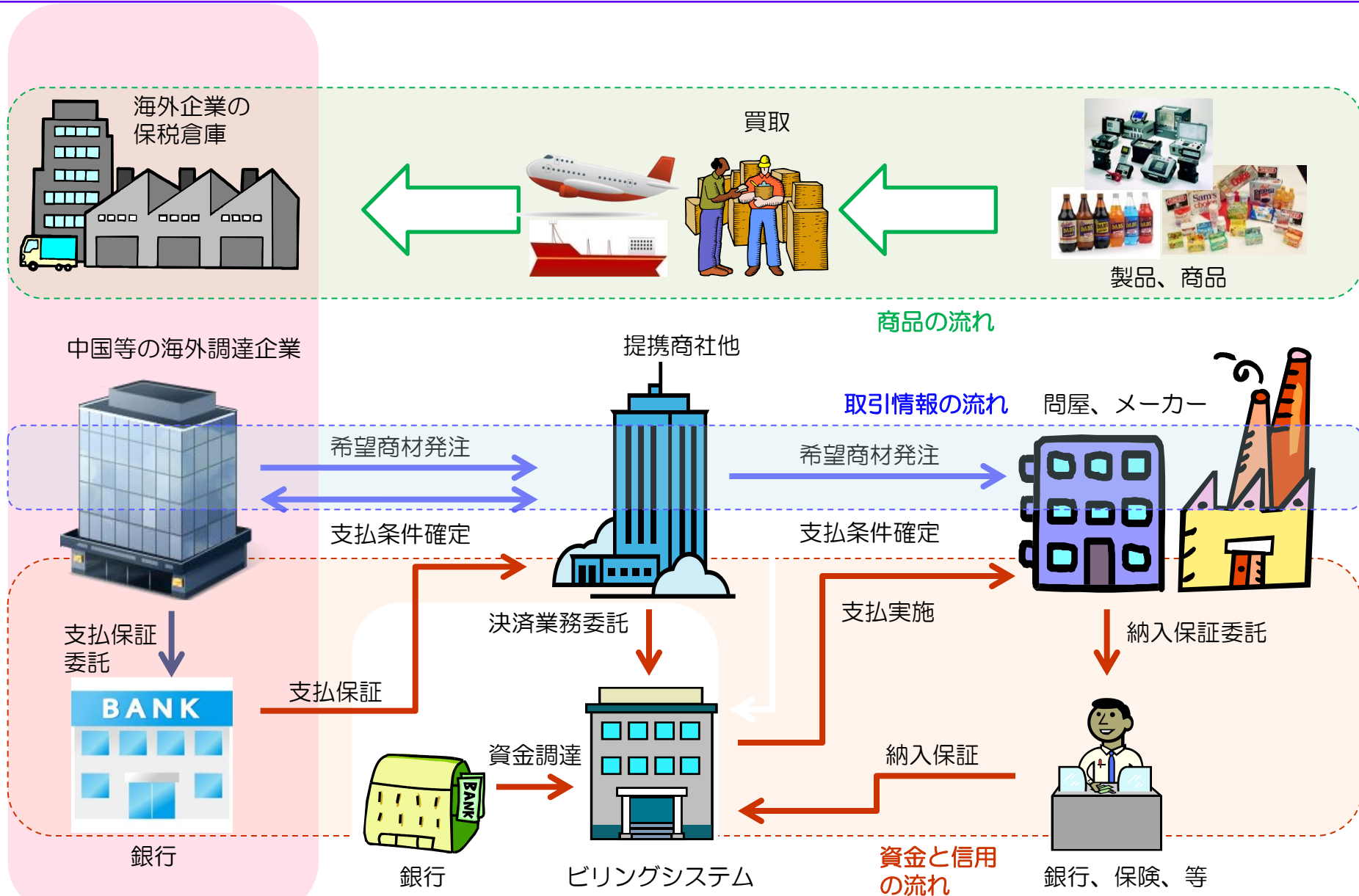
気軽に越境ECサイト開設！

アプリ内で購入できる

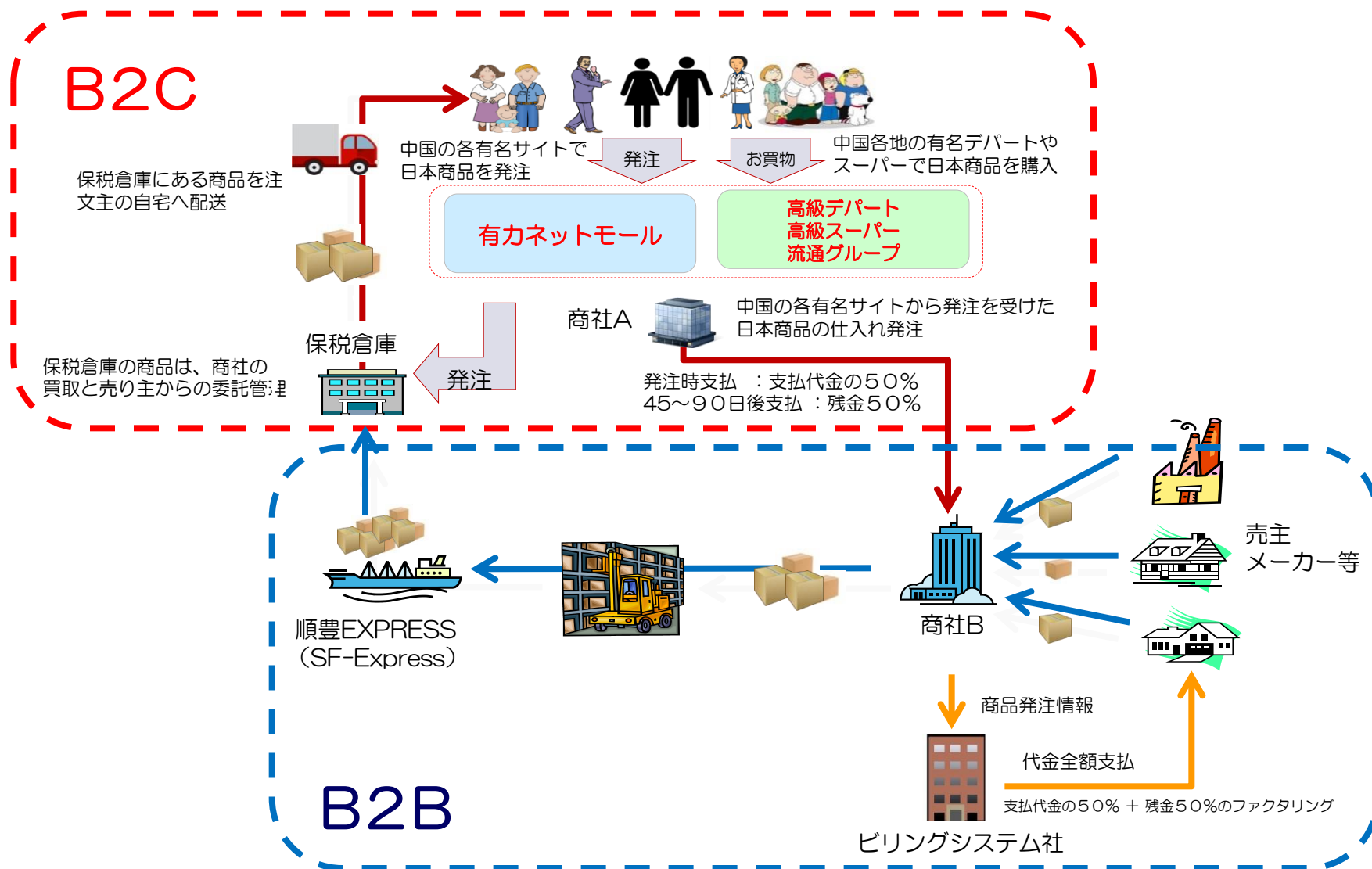
帰国後も御社の
通販リピーターとして確保！



3.4.1 越境ECのBtoBプラットフォーム構築



3.4.2 越境EC事業スキーム



3.4.3 越境EC事業のターゲット

越境ECのメインターゲットは 2つ

1. マスマーケットとしての『大陸の中間層』
2. 高級マーケットとしての『大陸富裕層、及び世界の華僑』



越境EC取引への対応

1. 来日外国人からの情報発信の広がりへの対応 - 富裕層 ⇒ 来日中間層 ⇒ 中間層
2. 日本の中小企業のリスクを最小とする販売展開としての前払いを原則とする通販サービスの展開
 - 富裕層会員 ⇒ 中間層会員 ⇒ 中間層
3. 現地企業からの要望に基づく、日本の優良商材の調達と販売
 - 現地優良企業の社内販売 ⇒ 現地企業の店頭販売、EC販売

ご清聴ありがとうございました。



本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先
ビリングシステム株式会社 電話03-5501-4400
toiawase@billingsystem.co.jp